

## 平成29年度第3回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成29年11月7日（火）

（夜の部）午後6時30分～午後8時15分

区役所 別館6階A会議室

- 1 開会
- 2 講師紹介 広報課長
- 3 テーマ  
「中央区の森」事業について（環境推進課長）
- 4 意見・質問

意見 ○ 「中央区の森」はいいことだと思う。しかし、身近に感じられない。また、この事業が区で排出するCO<sub>2</sub>の削減にどの程度寄与しているかもわからない。もっと身近な対策に重きを置いたほうがいい。

環境推進課長（以下、課長） ☆ 「中央区の森」のCO<sub>2</sub>吸収量に大きく期待しているというよりは、本事業をきっかけにして、各家庭で「エコアクト」を実践していただくなど、環境問題対策を区民一人一人が行っていただきたいというのが事業のねらいである。区としては、本事業のほかにも、例えば冷暖房設備や冷凍冷却設備の最新式への更新を助成する制度や、大規模開発の際には環境へ配慮した設備を設置するように要請するなど、CO<sub>2</sub>削減に向けたさまざまな施策を行っている。

意見 ○ 「中央区の森」は、私のような登山をする者には魅力的な事業だ。しかも、温泉があるのはとても魅力的だ。ただ、ネーミングは検討の余地があるだろう。これだと、都心の中央区にそんな森なんてあったかな？ となってしまう。「檜原・中央区の森」など、何か工夫を検討していただきたい。

課長 ☆ 他区の同種事業でも似たようなネーミングになっているが、ご指摘は理解できるので、周知の面も含め工夫を検討したい。

意見 ○ 「中央区の森」のパンフレットを現地の駅にも配置しておく、登山者が手にとって、もっと訪れる人が増えると思う。

課長 ☆ 現在、駅には置いてもらえないが、バス停には配置している。

意見 ○ 「エコアクト」はとてもいい取り組みだと思うが、私は知らなかった。子どもを中心に、地域・家庭・学校で取り組む点がいい。今後、学校の授業で取り入れることも検討していただきたい。このような事業をどう区民に浸透させていくかが課題だと思う。自分たちの活動が環境に役立っていることが実感できれば、もっと密接に意識が芽生えてくると思う。

課 長 ☆ 「エコアクト」については、広報誌やホームページなどで周知してきたり、「子どもとためす環境まつり」でもPRしている。ご意見のように、自分たちの取組みがどのように、どの程度、CO<sub>2</sub>削減に貢献したかがわかれば、取組みの意気込みも上がるので、今後、周知の方法を検討したい。

質 問 ○ 中央区のCO<sub>2</sub>排出量は過去10年間どんな変遷を経て、現在の230万トンになっているのか。

課 長 ☆ 平成18年は約202万トンであり、右肩上がりの増加傾向にある。これは区の世帯数が増えたことや、床面積が増えたためだと考えている。また東日本大震災以後、原子力発電が停止したこともCO<sub>2</sub>増加の大きな要因となっている。

意 見 ○ 原発停止をCO<sub>2</sub>増加の原因とすることは、私は根拠のないことだと考えているが、その点の説明・議論はここでは控える。

人口増加は、そもそも区が、まちづくりのため誘導した結果である。区は、冷暖房設備などを最新式のものに更新するための助成などを行って、その増えたCO<sub>2</sub>を少しでも減らそうとしているとのことだが、更新された旧式の機器を処分するのにも、またCO<sub>2</sub>は発生している。これは開発行為でも同じで、古い建物を壊して、その廃材を処分するのにもCO<sub>2</sub>は発生している。また最新機器の導入によって新規建物の単位面積当たりの発生量を減らしても、大規模開発によって面積（容積）が莫大に増えているので、結果的にCO<sub>2</sub>は減っていない。

課 長 ☆ 短期的に見ると、おっしゃるとおりだが、中長期的に見ると、やはり最新機器に更新することで、削減効果は出てくると考えている。

質 問 ○ では、その中長期的な目標はあるのか。

課 長 ☆ 今、現在は目標を定めていない。

意 見 ○ 結果的にCO<sub>2</sub>が増えているのは事実である。その事実を行政はしっかりと見てほしい。

質 問 ○ 「中央区の森」事業の運営状況はどうなっているのか。

課 長 ☆ 皆さんからの寄附金のほか、区内で開発事業をする事業者からの開発協力金を主な財源にしている。平成28年度末の残高は約5億円強と健全な状況である。この約5億円は「中央区の森」だけではなく、ほかの環境施策にも使っている。

質 問 ○ 「中央区の森」のPR・周知方法はどうなっているか。

課 長 ☆ 広報誌、ホームページのほか、環境情報センターで「中央区の森」の紹介イベントを実施している。また体験ツアーを春と秋に行っていて、参加者の口コミにも期待している。

質 問 ○ その体験ツアーの申込状況はどうか。

- 課 長 ☆ 毎回、バスが満席（約35名）になるほど参加いただいている。申込倍率が2倍以上になる場合もあり、抽選に漏れた方から苦情をいただくこともあるほどである。
- 意 見 ○ やはり子どもが参加できる機会が増えるといい。例えば学校の遠足や、区が助成して町内会のイベントとして行ってもらうとかすれば、区民ももっと行きやすくなる。
- 意 見 ○ 「中央区の森」の紹介映像を見て、山歩きが好きな私には、とてもいい事業だなと思った。7名も中央区から行って、活動しているとのことで、私も暇になったら手伝いたいなと思った。
- 意 見 ○ 「エコアクト」のデイリーチェック表を使って、CO<sub>2</sub>削減に協力している。とても参考になる資料だと思う。
- 意 見 ○ 「中央区の森」へは小学校高学年で遠足に行かせたらいいと思う。そうすると、子どもを介して、親も「中央区の森」のことを知るようになる。
- 課 長 ☆ 遠足は教育委員会の所管になるので、ご意見を伝えたい。
- 意 見 ○ 中央区は昼と夜の人口差が大きい。昼、オフィスで働く人たちの活動がCO<sub>2</sub>の増減に大きく影響する。企業への働きかけ、連携を進めてほしい。
- 課 長 ☆ 「エコアクト」の事業所用のものがああり、それを使って、各事業所で環境に配慮した活動をしてもらうようお願いしている。例えば冷暖房の温度設定も、環境省が推奨する温度設定にとお願いしている。また、アイドリングストップも事業所と連携して推進している。
- 意 見 ○ 広報誌のほか、各種施策のパンフレットで情報提供していただけるのはありがたいが、あれだけ大量に紙を使うのは環境によくないなとも思う。何か対策を検討してほしい。
- 課 長 ☆ 区にはグリーン購入制度があり、紙については、ほぼすべてリサイクル紙を使っている。またエコオフィス活動の一環として、無駄な紙は使わないという方針で研修をしている。例えば1000部と800部が同じ金額で印刷ができるなら、必要な800部にしなさいと教えている。
- 質 問 ○ 「中央区の森」の面積約42ヘクタールは、中央区の面積においては何%程度になるか。私の試算では約4%だが、その程度という認識でいいか。
- 課 長 ☆ その程度かと思う。中央区の年間CO<sub>2</sub>排出量230万トンと植樹して吸収するなら、中央区の面積約10平方キロメートルのほぼ全てに植樹をしなければいけないと試算したことがある。
- 意 見 ○ 省エネ・省資源活動を推進することが大事だと思うが、それと「中央区の森」との間に少し飛躍があるように感じた。例えば「中央区の森」では間

伐を進めているが、間伐材が放置されたままになっていたりする。間伐材の有効利用を進めることは省エネ・省資源活動にもなる。また、間伐材の有効利用も現地のNPOの方々に任せるのではなく、アイデアを区民から募れば、もっと「中央区の森」も身近に感じられると思った。

課長 ☆ 「中央区の森」を通じて、区民や事業者の皆様が省エネ・省資源活動に最終的に取り組んでいただき、この活動を推進していきたいと考えている。間伐で一部の間伐材が放置されているのは、斜面がとても急で下までおろせないため、いわゆる捨て伐といって、これも間伐の一つの方法である。間伐材の有効利用については現在も進めていて、例えば公園のベンチや豊海小学校の本棚に使っている。また今後建設予定の「本の森ちゅうおう」でも使う予定である。このように可能な限り積極的に「中央区の森」の間伐材を有効利用していきたい。また、そのことをPRしていくことで、「中央区の森」を区民も身近に感じていただけると考えている。

質問 ○ 数値化するの難しいのかもしれないが、「中央区の森」の維持費等の費用対効果はどうなっているか。

課長 ☆ 定量的評価はできないので、定性的評価として体験ツアーでのアンケートを参考にしているが、そこでは高評価をいただいている。

質問 ○ COP21で決まった国レベルでのCO<sub>2</sub>削減目標をもとに、国は各自治体等に削減目標を提示なり、設定しているか。

課長 ☆ 国から自治体等への具体的目標の提示はない。法律によって、各自治体にCO<sub>2</sub>削減を求めている部分はあるが、地域計画の策定が努力義務として課されている。区では、これを踏まえ、現在改定中である環境行動計画の中で、区内の削減目標を検討している。ただ、区は現在、再開発が進んでいる最中で、今後の見通しがなかなか立てられないなど、数値目標の設定はなかなか難しい。

意見 ○ 以前いただいた資料では、本日は環境推進課関係全般のテーマで話し合うようなことが書いてあったが、本日の会議次第では、テーマは「中央区の森」についてだけとある。これでは、私たちも何を準備して何を話せばいいか、混乱してしまうので注意していただきたい。

意見 ○ 「中央区の森」ができて約10年だが、この10年間、「中央区の森」の利用としては体験ツアーを行うぐらいで、ここまでの意見にあった学校の遠足で利用するなど、他部署との連携による利用がなされてきたようには思えない。もっと他部署と連携して、利用策の検討を願いたい。

意見 ○ 事前に送られた資料には「中央区の森」以外にも「エコアクト」に関するものもあったし、6日の施設見学会では、ごみ処理場にも行った。私たち

モニターとしては、これらのことをつなげて、いろいろと考えてきて、意見を言おうと思っていたら、「中央区の森」についてどう思いますかとだけ聞かれた。それだけの会議なら時間の無駄だ。ここで皆さんといろいろ話し合って、何か新しい知恵が生まれる会議運営を行っていただきたい。

広報課長 ☆ ご案内の仕方が適切ではなかったと反省している。次回以降は、テーマをもっと明確にしてご案内したい。

ただ、環境というテーマだと、とても幅広く、意見が拡散してしまうので、本日は1つの事業に絞り、そのことを知っていただくとともに、ご意見をいただきたいと思った。実際、昼の部でも、「中央区の森」や「エコアクト」を今回初めて知った方も多くいた。その中でも、説明を聞いて疑問に思ったり、改善すべき点の指摘をいただいたりした。私たちは、そういうご意見を今後の行政に反映させたり、例えば遠足のようなご意見については担当する部署につなげることが役割だと考えている。

意見 ○ 環境活動はもっと日常に根ざしていかないと広がっていかないと思うので、そういう観点からの周知を検討願いたい。またホームページや広報誌も見られない環境にいる方もいる。特に高齢者や子どもはそうかもしれない。高齢者や子どもへのアプローチ方法をもっと考えていただきたい。

広報課長 ☆ 例えば子どもへのアプローチについては、「子どもとためす環境まつり」など、機会をとらえて色々やっている。学校でも環境学習を進めているが、やはり私たち一人一人が、子どもの手本となるように取り組んでいくことが大事だと思う。

意見 ○ やはり区として取り組むべきはCO<sub>2</sub>削減であって、「中央区の森」ではない。もちろんその施策の1つとして「中央区の森」や日常の取組みとしての「エコアクト」はあるのだろうが、そのほかにも、まだ見過ごされている問題点を、私たち区政モニターが意見を出し合うことで掘り出していくことが、この会議としては重要ではないかと思う。

課長 ☆ 中央区のCO<sub>2</sub>排出源として大きいのは民生部門で、全体の230万トンのうち、家庭系で約28万トン、業務系で158万トンとなっている。こうした状況を踏まえ「中央区の森」や「エコアクト」もCO<sub>2</sub>削減促進のために行っている。

意見 ○ 「エコアクト」に書かれていることは比較的やりやすいことで、意識の高い方なら、ここに書かれていることは既に達成済みだと思う。もう少しランクアップしたものもご検討いただきたい。

課長 ☆ 「エコアクト」については、以前は、家庭ではなかなか取り組みにくいメニューが多かったが、日常的な環境活動の裾野を広げるという意図で、今

のような取り組みやすいメニューになった。

意見 ○ 「中央区の森」について、遠足など学校利用に関することは、しっかりと教育委員会に伝えてほしい。本来なら10年前からやっていたらいけない取り組みだと思う。

広報課長 ☆ 10年前に「中央区の森」ができたときは、まだ遊歩道もなく、とても体験ツアーや遠足で行ける状態ではなかった。10年かかって、今のような姿になった点をご理解いただきたい。

意見 ○ 「中央区の森」のパンフレットも、現地のバス停なんか置くよりも、もっと区内で区民の手に渡るような配布方法を検討していただきたい。

意見 ○ この会議は与えられたテーマしか議論しないのか。会議の中で1回ぐらひは、テーマフリーの会があってもいいかなと思う。

広報課長 ☆ テーマを絞らず、自由にご討論いただくと収拾がつかないので、テーマごとに区政モニターの皆様のご意見を伺うようにしていきたい。区政全般に対する個人的なご意見はモニター通信などでお寄せいただきたい。

意見 ○ 電話やEメールで行うのは行政と個人の1対1の関係になって、結局、複数の所管部署にまたがる問題点や改善点の提示に、行政がちゃんと横のつながりをもって対応してくれるかがわからない。せっかく、こういう会議があるのだから、そこで区民も関係部署も共有できるような会議にならないかと思う。

広報課長 ☆ いただいたご意見は、本日出席していない関係部署にも、しっかりと伝えている。

区政モニター会議のあり方については、毎年、いろいろな意見をいただくが、区としては、募集時に区のおしらせにも書いたように、あくまでも区の施策を皆さんに知っていただき、こちらの課題に対してご意見をいただく場として設定している。実際、昼の部、夜の部を合わせて、今回初めて「中央区の森」や「エコアクト」を知った方も多かった。皆さんが各人でお持ちのご意見・ご要望・アイデアなどは、モニター通信や区長への手紙などでお寄せいただきたい。

意見 ○ 何か一つの意見にまとめなければいけない会議なら、関係部署も参加して、いろいろとみんなで議論することは必要かもしれないが、区政モニター会議はそのような場ではない。むしろ議論が拡散したり、感情的になりがちなので、この場で議論することはやめたほうがいい。